

講義シラバス

科目名	ネイル検定Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティネイル専攻			学年	2年生		
講師名	大窪 史子	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルアトリエmpccip(ミップチップ)主宰 サロンワーク・ネイル技術指導のほか、コンテスト審査、検定審査、ネイルスクール講師、 セミナー講師など、多岐にわたる活動をしている						

【到達目標】

トップレベルの総合プロネイリストとして通用するレベルのイクステンションを装着できるようになる。

【学習内容】

ネイリスト技能検定試験の実技課題であるイクステンションの構造と、その装着手順を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

JNAテクニカルシステムベーシック、ネイル教材一式、筆記用具、ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

検定試験に向けた自主練習・筆記演習

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/21)	ネイリスト技能検定1級に使用する用具・用材について学び、扱いに慣れる。 適正なミクスチュアをとり、ブラシで自由に換えるようになる。	⑤ (6/30)	適正な角度にチップ装着し、チップオーバーレイを完成させることができるようになる。
② (4/28)	ナチュラルスカルプチュアの材料の特性を踏かしながら、適正なミクスチュアとブラシワークでフリーエッジを完成させることができるようになる。	⑩ (7/7)	チップオーバーレイのフリーエッジアプリケーションのバリエーションを学び、どの手順でも同じ仕上がりにすることができるようになる。
③ (5/12)	ネイルフォームの理論と装着方法を学び、人にもプラクティスハンドにも装着できるようになる。	⑪ (7/14)	ナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを数本装着する。 異なる技法のイクステンションを同じ仕上がりに揃えることができるようになる。
④ (5/19)	2～3ボール目、ピンテングの手順を学び、アプリケーションを完成させることができるようになる。	⑫ (8/25)	目標時間内にナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを完成させることができるようになる。
⑤ (5/26)	ファイリング手順を学び、ナチュラルスカルプチュアを完成させることができるようになる。	⑬ (9/1)	まとめた本数で装着し、目標時間内に統一感のある仕上がりにできるようになる。
⑥ (6/2)	ナチュラルスカルプチュアのフリーエッジアプリケーションのバリエーションを学び、どの手順でも同じ仕上がりにすることができるようになる。	⑭ (9/8)	1級検定のアート以外の全ての工程を通して、時間内に仕上げることができるようになる。
⑦ (6/9)	ナチュラルスカルプチュアのアプリケーション手順を応用し、ラメやカラーを用いたデザインスカルプチュアの装着ができるようになる。	⑮ (9/15)	1級検定のアート以外の全ての工程を通す。 時間内に揃えた仕上がりにする。
⑧ (6/23)	【到達目標】 アクリルとジェルを組み合わせたデザインスカルプチュアの装着ができるようになる。	【成績評価の方法と基準】	
		●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく。
顔にかかる髪はまとめる、とめる等、施術の妨げとならないようにする。

講義シラバス

科目名	ビューティマナーⅢ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで専与。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、専門学校、企業研修や高校での俱楽部指導などを担当。札幌ベルエポックでは、接遇検定、マナー、化粧品検定等の授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】
 社会人に必要なコミュニケーションマナーについて理解し、セルフプロデュース力を身につけることができるようになる

【学習内容】
 円滑な人間関係を構築するのに役立つスキルを学び周りの人に、感じが良い、この人と働きたい・お客様に選ばれる自分になる（内面からの自分磨き）
 今までの学びを振り返り、プロとしてレベルアップを図る

【使用教科書・教材・参考図書】 **【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

ノート 筆記用具			
日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】2		【到達目標】3
① (4/19)	「ビューティマナーへの目標共有」ビューティマナーを学ぶ意義を理解することができるようになる 社会人に求められること・社会での自立の方を考える	⑨ (6/28)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー④ 話し方【丁寧な伝え方】が実践できるようになる
② (4/26)	自身が目指す職種をイメージし、学びを考えられようになる 自身のために授業の内容をどのように役立てるのかについてまとめる	⑩ (7/5)	プロとしてのマナー④ 話し方【正しい接客用語】が実践できるようになる
③ (5/10)	お客様に選ばれる自分になるために必要なことを考え、セルフプロデュースができるようになる	⑪ (7/12)	プロとしてのマナー④ 話し方【感じの良い電話対応】ができるようになる
④ (5/17)	自己分析・自身の強みと弱み理解し、必要なコミュニケーション力をイメージができるようになる（1年間の成長と今後必要なこと）	⑫ (8/23)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー⑤ 仕事・態度が実践できるようになる （※感じの良い物の行け渡し方）
⑤ (5/24)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー① 状況に応じた笑顔・表情が実践できるようになる	⑬ (8/30)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー⑤ 仕事・態度が実践できるようになる （※感じの悪い態度について考える）
⑥ (5/31)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー② 挨拶が実践できるようになる （※接客用語基本をマスターする）	⑭ (9/8)	感動を与えるサービスマインドを身につける お客様心理の重要さを理解できるようになる （マニュアルにない対応を迫られたら）
⑦ (6/7)	接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー③ 身だしなみ実践できるようになる （※自身の身だしなみを整えて参加し、ポイントを発表）	⑮ (9/13)	【定期試験】60 これまでの授業で身につけたプロとしてのマナーについて知識をペーパーテストで確認
⑧ (6/21)	【到達目標】3 接遇の基本を振り返る。 プロとしてのマナー④ 話し方【正しい敬語】を使いこなせるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】
 忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る

講義シラバス

科目名	化粧品検定	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで専攻。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを運営すると共に、官庁、企業研修や高校での模擬面接などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定等の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
化粧品検定2級合格を目指す									
皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得することができるように									
【学習内容】									
化粧品検定3級(自分の知識を正す)・2級範囲(自分はキレイになる)の知識を習得する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
化粧品検定2級・3級対策テキスト(コスメの教科書) 問題集・筆記用具・ノート					検定合格を目指し、自身で覚える為の工夫をする。宿題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】2					【到達目標】3			
① (4/19)	授業内容を理解し、自身の目標設定を行う 間違えがちな美容知識を学ぶ。今日からすぐに実践できる知識を習得する クレンジング・洗顔の基本を理解することができるようになる				⑨ (6/28)	メイクアップの基本テクニックを知り、検定における手順と肌悩みに応じた化粧品の使い方を習得する。肌を劣化させる様々な要因(外的要因・内的要因)を理解することができるようになる			
② (4/26)	化粧品・乳液/クリーム・美容液の基礎知識 動きがちな肌悩みの対処法/スペシャルケアに関する疑問 日焼け止めの基本を理解することができるようになる				⑩ (7/5)	肌を劣化させるさまざまな要因について理解することができるようになる			
③ (5/10)	メイクアップの基本～ヘアケアの基本手や爪の特徴 日本・海外の化粧品の違いについて理解することができるようになる <3級検定資格試験の合格を目指す>				⑪ (7/12)	紫外線が肌に与える影響 種類・紫外線量、日焼け止めの選び方を理解することができるようになる			
④ (5/17)	皮膚の構造:断面図で皮膚の成り立ち/皮膚のしくみと働きを理解することができるように				⑫ (8/23)	化粧品効果的なマッサージの必要性と方法 身体の生理作用と美肌作りのための生活習慣がもたらす効果について理解をする (睡眠/食事/飲み物/運動/入浴)			
⑤ (5/24)	美肌のしくみ/皮膚の機能 肌タイプ・季節と肌乾燥の原因とお手入れを理解することができるようになる				⑬ (8/30)	模擬テスト 化粧品検定を振り返り、自身の苦手箇所と今後の課題を理解する			
⑥ (5/31)	肌の基本知識を知ることで、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ ニキビ/毛穴の種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解することができるようになる				⑭ (9/6)	模擬テスト 3級・2級内容総復習 苦手箇所を理解し、復習する			
⑦ (6/7)	肌の基本知識を知ることで、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ シミ/くすみの種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解することができるようになる				⑮ (9/13)	化粧品検定2級受講			
⑧ (6/21)	肌の基本知識を知ることで、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ くま/しわ/たるみの種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解することができるようになる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点				
忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	社会人接客マナー	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで寄与。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、官庁、企業研修や高校での模擬面接などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定等の授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】

サービス接客検定3級合格を目指す。サービス接客実務について初歩的な理解をすることができるようになる

基本的なサービスに必要な知識を身につける。更に社会人に必要なビジネスマナーの基本を身につけ、社会人への準備をする。

【学習内容】

サービス接客検定3級 基本的なサービスの知識(専門知識、一般知識他)

接客者に求められている対人技能(身だしなみ、話し方他)、ビジネスマナーの基本を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

サービス接客検定3級(公式テキスト・実問題集) 筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

検定合格を目指して、自身で覚える工夫をする。宿題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/19)	【到達目標】2 サービス接客検定の概要、ビジネスマナーの必要性を理解することができるようになる 授業内容を理解し、自身の目標の確認。	⑨ (6/26)	【到達目標】3 接客用語・基本的な話し方・提示、説明の仕方について理解することができるようになる
② (4/26)	【到達目標】2 サービス接客検定 サービススタッフの資質 必要とされる要件について理解することができるようになる	⑩ (7/5)	【到達目標】3 接客者としての適切な服装について理解することができるようになる
③ (5/10)	【到達目標】3 サービス接客検定 サービススタッフの資質 従業員要件について理解することができるようになる	⑪ (7/12)	【到達目標】4 問題処理について理解することができるようになる
④ (5/17)	【到達目標】3 サービス接客検定 専門知識 サービス知識 差儀・機能・種類について理解することができるようになる	⑫ (8/23)	【到達目標】3 環境整備について理解することができるようになる
⑤ (5/24)	【到達目標】3 サービス接客検定 専門知識 従業員知識 商業用語・経済用語について理解することができるようになる	⑬ (8/30)	【到達目標】3 食品管理について理解することができるようになる
⑥ (5/31)	【到達目標】3 サービス接客検定 一般知識 社会常識 社会常識について理解することができるようになる	⑭ (9/6)	【到達目標】3 サービス接客検定 実務技能 接客業務 食品接客業務について理解することができるようになる
⑦ (6/7)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 人間関係 一般的人間関係について理解することができるようになる	⑮ (9/13)	【定期試験】60 サービス接客3級 これまでの授業で身につけた知識をペーパーテストで確認
⑧ (6/21)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 接客知識 対人心理・接客者としてのマナーの心得について理解することができるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(60~89点)/C評価(70~79点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る

講義シラバス

科目名	ダイエットビューティ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	石綿 仁美	講師 プロフィール	柔道整復師・調理師の国家資格を持ち、加圧スペシャルインストラクターとして身体についての正しい知識をもってインナービューティ(食事)とアウタービューティ(運動)を軸に自身のダイエット経験を活かした健康美をお伝えしています。エステティシャンとしてスタートした美容歴は20年以上となり、現在は自宅・出張サロンと整骨院勤務もしています。						

【授業を通じての到達目標】

自分史上最高の身体を手に入れる！授業の中でセルフボディメイクマスターし、美姿勢・美脚・引き締まったウエストを自分のものにする。

【学習内容】

身体の構造や機能を理解した上でのエクササイズやボディケアを中心に、美しいボディラインを手に入れるために必要な技術・理論を実践する。

【使用教科書・教材・参考図書】

ipad・タオル・ストレッチポール など
参考図書：解剖学アトラス 他

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

学んだことを実践できるとなおいでしょう

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/19)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり】 自らの現状を把握し、美BODYを手に入れるために必要なことを理解することができる。	⑨ (6/28)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり ウエスト編③】 スッキリ薄いお腹をつくるようになる。
② (4/26)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 美脚編①】 前ももの張りをスッキリさせ美しい脚をつくるようになる。	⑩ (7/5)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 肩・背中編①】 引き締まった背中を手に入れることができるようになる。
③ (5/10)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 美脚編②】 裏ももとお尻の境目をハッキリさせ美しい脚を作ることができるようになる。	⑪ (7/12)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 肩・背中編②】 華奢な肩とほっそりした胸をつくるようになる。
④ (5/17)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 美脚編③】 外に張り出した外ももをスッキリさせ美しい脚をつくるようになる。	⑫ (8/23)	【到達目標】 【自分史上最高のからだづくり 骨盤編①】 美しい身体に欠かせない呼吸について理解することができるようになる。
⑤ (5/24)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 美脚編④】 内ももを引き締めて隙間のある美しい脚をつくるようになる。	⑬ (8/30)	【到達目標】 【自分史上最高のからだづくり 骨盤編②】 骨盤を安定させて効果を維持できるようにする。
⑥ (5/31)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり 美脚編⑤】 X脚・O脚の改善方法を理解し、改善方法を実践することができるようになる。	⑭ (9/6)	【到達目標】 定期試験用レポート、発表内容作成・確認
⑦ (6/7)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり ウエスト編①】 ぽっこり下腹をスッキリさせることができるようになる。	⑮ (9/13)	【定期試験】60 発表、ipadにてレポート提出、選択試験
⑧ (6/21)	【到達目標】 【自分史上最高の身体づくり ウエスト編②】 引き締まったウエストをつくれるようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

実技が多いのでジャージやレギンス等動きやすい服装で参加してください。

講義シラバス

科目名	ビューティボディⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティエステ専攻			学年	2年生		
講師名	川口奈美	講師 プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時に札幌ベルエポックで講師を務める。CIDESCOインターナショナルエステティシャン、日本エステティック協会認定講師、認定衛生管理者、協会規定技師、AEAインターナショナルエステティシャン、AEA認定講師、AEA登録技師、日本エステティック試験センター登録技師、AEA認定試験アンバサダー。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとして必要なボディ実技理論、ボディ機器技術を習得する。 また、ボディコンサルテーションに必要な知識と復身理論、ボディ分析技術を習得する。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・AEA上級認定試験に合格できるボディ実技理論とコンサルテーション技術を習得する ・コンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する ・ボディマッサージの技術と理論を習得する 									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
① ベビーパウダー、ポリ袋 ② 電卓、メジャー、色ペン、AEA「皮膚科学」					・ 宿み別のホームケアアドバイス				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/21)	AEA上級認定試験対策として 適切なコンサルテーション技術を習得する 「生活状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑨ (6/30)	Ajesthe認定上級試験対策として コンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する 1ページ目の記入が出来るようになる			
② (4/28)	AEA上級認定試験対策として 適切なコンサルテーション技術を習得する 「健康状態」の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑩ (7/7)	Ajesthe認定上級試験対策として コンサルテーションに必要なボディ分析技術を習得する 2ページ目の記入が出来るようになる			
③ (5/12)	AEA上級認定試験対策として 適切なコンサルテーション技術を習得する 「食生活」その他の項目の問題解決のアドバイスが出来る				⑪ (7/14)	ボディ機器「G5」の技術と理論を習得する 目的効果、禁忌、留意点を習得する 下肢背面の施術が出来るようになる			
④ (5/19)	AEA上級認定試験対策として 適切なコンサルテーション技術を習得する 「ホームケアアドバイス」の項目のアドバイスが出来る				⑫ (8/25)	ボディ機器「G5」の技術と理論を習得する 腰背部の施術が出来るようになる			
⑤ (5/26)	AEA上級認定試験対策として 適切なコンサルテーション技術を習得する 「体型の状態」を正確に表記し最適なプラン立てが出来る				⑬ (9/1)	【オンライン授業】 ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を習得する 目的効果、禁忌、留意点を習得する アフターカウンセリングが出来るようになる			
⑥ (6/2)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程を施術できる				⑭ (9/8)	ボディ機器「サクシオン」の技術と理論を習得する 下肢の施術が出来るようになる			
⑦ (6/9)	AEA上級認定対策： コンサルテーション～マッサージ、仕上げ 全工程施術と 口頭試問に対応できる				⑮ (9/15)	【定期試験】50 実技試験 筆記試験			
⑧ (6/23)	【到達目標】 AEA上級認定試験に合格する				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ジェルネイルⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティネイル専攻			学年	2年生		
講師名	加藤梨愛	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会認定講師。Nailsalon & school Luxfaオーナー。 国内外のコンテストにて入賞経験有り						
【授業を通じての到達目標】									
ジェルネイル検定中級試験を合格できるようになる ジェルネイルの応用技術を身に付ける									
【学習内容】									
ジェルネイル検定中級合格レベルになる ジェルネイルの応用技術を身に付ける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ジェルネイル教材一式、筆記用具、ビニール袋、 キッチンペーパー、コットン、アルミホイル					ジェルネイル検定前の自主練習、筆記演習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/21)	中級試験の内容の説明、グラデーション・フレンチができるようになる 小テスト5点(試験要項の内容について)				⑨ (6/30)	合格レベルを意識しながらタイムトライアル 筆記試験の模擬問題を解くことができるようになる 小テスト10点(実技、筆記)			
② (4/28)	ジェルイクステンションができるようになる フォームの執筆、ブラシワークについて詳しく説明 イクステンションのオフの仕方の説明				⑩ (7/7)	タイムトライアル 実技・筆記ともに最終チェック			
③ (5/12)	自分の片手にグラデーション2本、フレンチ3本を塗り、ジェルオフができるようになる ハンドでイクステンションの練習				⑪ (7/14)	検定試験当日			
④ (5/19)	中級試験の手順・時間配分を理解し、技術を向上させる 筆記試験の出題範囲を理解することができるようになる				⑫ (8/25)	ジェルイクステンションの応用ができるようになる 長さのあるイクステンションを練習 クリアフレンチの練習			
⑤ (5/26)	時間配分を考え、タイム内に収めることを意識しながら練習する 筆記試験の出題範囲を理解することができるようになる 小テスト5点(筆記試験)				⑬ (9/1)	ジェルイクステンションの応用ができるようになる シエルやラメなどを使って埋め込みアートの練習			
⑥ (6/2)	タイムを意識しながら幅や深さの揃ったグラデーション・フレンチや、 フォームを意識したイクステンションができるようになる 小テスト5点(チップの提出)				⑭ (9/8)	ジェルイクステンションの応用ができるようになる 奥行きのあるアートの練習 小テスト5点(チップの提出)			
⑦ (6/9)	苦手部分を把握し、克服することができるようになる 筆記試験の模擬問題を解き、苦手部分を把握する 小テスト10点(筆記試験)				⑮ (9/15)	【定期試験】50 ジェルイクステンション(ラメグラデーション4本、アート1本) 5本1セットを時間内に施術することができるようになる			
⑧ (6/23)	【到達目標】 合格レベルを意識しながらタイムトライアル 筆記試験の模擬問題を解くことができるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、遅刻、欠席をしない 授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく									

講義シラバス

科目名	PCワークⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	玉村 彩加枝	講師 プロフィール	短大を卒業後、コンピューターメーカーにインストラクターとして就職。ショールームでの接客対応やパソコン、ワープロの講師を経て、現在は主にWord、Excel、PowerPointの講師をしています。ビジネスマナーを加味したITリテラシー、Officeの検定対策授業を担当できます。						

【授業を通じての到達目標】

- ・アカウントやID、パスワードを管理できるようになる。・ITリテラシーを守って、情報発信できるようになる。
- ・パソコンだけでなくタブレットやスマホでファイルの編集ができるようになる。
- ・プレゼンテーションの技法を身につけ、説得力のあるプレゼンができるようになる。

【学習内容】

- ・効果的なプレゼン資料の作成と発表技術の向上
- ・ブログの更新 ・構図をふまえた写真撮影
- ・ビジネス文書の作成 ・ビジネスメールの送信

【使用教科書・教材・参考図書】

オリジナルテキスト(iPad等に表示)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/22)	<p>【到達目標】 iPadの活用 必要なアプリをインストールできるようになる。 アカウント、ID、パスワードの管理ができるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑨ (7/1)	<p>【到達目標】 iPadでファイルを編集できるようになる。 クラウドへのデータ保存の仕組みを理解する。</p> <p>小テスト:3点</p>
② (5/13)	<p>【到達目標】 PowerPointの基本的操作の復習 箇条書き、画像等が挿入されたスライドが作成できるようになる。 プレゼンの内容に合った効果的なアニメーションを設定できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑩ (7/8)	<p>【到達目標】 【配信】 受発注の書類の流れを理解する。 前年度比や構成比等を求め、データ分析やグラフ作成ができるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>
③ (5/20)	<p>【到達目標】 発表会場の大きさや聞き手の状況に合わせて、読みやすい文字を選び、 図形やグラフ等視覚に訴えるスライドが作成できるようになる。 内容に合ったデザイン、色を設定できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑪ (7/15)	<p>【到達目標】 撮影の構図を理解し、見栄えの良い写真の撮影やトリミングできるようになる。 用途に応じて画像ファイルの容量やサイズを選択できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>
④ (5/27)	<p>【到達目標】 声のトーンや話すスピード、「間」の活用等、発表技術を習得する。 様々なデバイスで閲覧するためにPDFファイルに変換できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑫ (8/26)	<p>【到達目標】 テーマを決め、ブログを開設する。 IDとパスワードの管理ができるようになる。 ブログに掲載する画像について学び、リサイズできるようになる。(アプリ)</p> <p>小テスト:3点</p>
⑤ (6/3)	<p>【到達目標】 聞き手の分析やストーリーの組み立ての重要性を理解し、 説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑬ (9/2)	<p>【到達目標】 ブログを管理し、詳細な設定ができるようになる。 ブログに掲載する画像について学び、リサイズできるようになる。 画像のEXIF情報について理解し、用途に応じて削除できるようになる。</p> <p>小テスト:2点</p>
⑥ (6/10)	<p>【到達目標】 発表会場や聞き手に合わせて資料を作成し、発表することができるようになる。 聞き手の態度から感情が読み解き、発表に反映できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑭ (9/9)	<p>【到達目標】 ブログに掲載する画像に代替テキスト(alt属性)を設定するメリットを理解する。 画像に代替テキスト(alt属性)を設定できるようになる。</p> <p>小テスト:2点</p>
⑦ (8/17)	<p>【到達目標】 Wordの基本的操作の復習 一般的なビジネス文書を効率よく作成することができるようになる。 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	⑮ (9/16)	<p>【定期試験】60</p> <p>ビジネス文書作成 プレゼンテーション ビジネスメールの送信</p>
⑧ (6/24)	<p>【到達目標】 表や画像が挿入された文書を作成することができるようになる。 各機能を学び、効率よく文書作成ができるようになる。 文書ファイルをPDF形式のファイルに変換できるようになる。</p> <p>小テスト:3点</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●小テスト40点/定期試験60点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	
<p>【履修に当たっての心構え・留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業出席、遅刻の管理と指導 ・忘れ物、授業態度の指導 ・パソコン操作に必要なID、パスワードの管理 ・Gmailの活用 			

講義シラバス

科目名	ビューティフェイシャルⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	藤村 麗	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業。CIDESCOインターナショナルエステシヤン。エステティックの実務を10年。フェイシャルトリートメント/ボディトリートメント/各トリートメントメニューの作成/脱毛/カウンセラーを行ってまいりました。実際の現場で通用するスキルを皆さんに身につけてもらえるように努めます。						
【授業を通じての到達目標】									
技術力・知識を向上してAEA上級試験に合格出来るようになる。									
【学習内容】									
フェイシャルエステの基本手技、実技授業(フェイシャルエステの一連の流れ・コンサルテーションなど)									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
プリント、エステ教材一式(教科書含む)、タイマー									
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/19)	オリエンテーション シラバス・スケジュールの確認、今後の準備をしてスムーズに授業が出来るようになる。				⑨ (6/28)	AEA上級試験内容が時間内で出来るようになる。① ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、豊肌5分 (小テスト7)			
② (4/26)	【到達目標】 クレンジング・マッサージ6手技の復習を行い、一連の流れが時間内(25分)で出来るようになる。 (小テスト1)				⑩ (7/5)	AEA上級試験内容が時間内で出来るようになる。② ・誘導3分、クレンジング10分、シート記入15分、マッサージ15分、拭き取り、豊肌5分 (小テスト8)			
③ (5/10)	【到達目標】 正しい手順、時間内(25分)でクレンジング・マッサージを行い、肌分析が出来るようになる。 (小テスト2)				⑪ (7/12)	AEA上級試験実施。 ・試験当日 授業内で試験実施			
④ (5/17)	【到達目標】 肌分析知識を学び、身につけ、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。 (小テスト3)				⑫ (8/23)	Aieste上級試験の内容の確認、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。① クレンジングの復習			
⑤ (5/24)	【到達目標】 クレンジング・マッサージの復習、時間内(25分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。① (小テスト4)				⑬ (8/30)	コンサルテーションシートを記入出来るようになる。② マッサージの復習			
⑥ (5/31)	【到達目標】 クレンジング・マッサージの復習、時間内(25分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。② (小テスト5)				⑭ (9/6)	ディープクレンジング(ブラシクレンジング・スチーマー)の目的効果・禁忌事項・留意点を理解し、正しく施術ができるようになる。			
⑦ (6/7)	【到達目標】 クレンジング、マッサージ、拭き取りの復習、時間内(30分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。① (小テスト6)				⑮ (9/13)	【定期試験】60点 ディープクレンジング(角質除去各種、スチーマー)の目的効果・禁忌事項・留意点を理解し、正しく施術ができるようになる。※解禁 ※定期試験は、AEA上級試験の配点を定期試験とする。			
⑧ (6/21)	【到達目標】 クレンジング、マッサージ、拭き取りの復習、時間内(30分)で行い、コンサルテーションシートを記入出来るようになる。② (小テスト7)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ブランドリサーチⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	浅沼 和恵	講師 プロフィール	国内化粧品ブランドと外資系化粧品ブランドでBAとして経験を積み、札幌ベルエポック美容専門学校よりBAに資格した卒業生を担当。現在も東武BAとして活動している。						
【授業を通じての到達目標】									
様々なブランドのトレンドやロングセラーコスメを知り、ブランドについて更に理解を深めると共にメイクの楽しさを理解し自他に実践できるようになる									
【学習内容】									
チームワークで担当ブランドの話題のコスメ調べ、買い物体験でお客様目線とBA目線でコスメを研究する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
					日頃からコスメブランドのリサーチを心がける。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 オリエンテーション。チームを決定しブランドと話題のコスメを探ることができるようになる (話題の理由も見つける)①				⑨ (6/30)	【到達目標】 リサーチコスメを決定し、次回買い物体験での質問事項などをまとめることができるようになる			
② (4/28)	【到達目標】 店頭でリサーチコスメを試し選択することができるようになる(外出予定)				⑩ (7/7)	【到達目標】 買い物でBAの接客を体験し販売テクニックを習得することができるようになる(外出予定)			
③ (5/12)	【到達目標】 商品を決める。次回の買い物体験での質問事項などをまとめることができるようになる				⑪ (7/14)	【到達目標】 買い物体験で得た情報をまとめる。 コスメを試しているいろいろな角度から研究することができるようになる			
④ (5/19)	【到達目標】 買い物でBAの接客を体験し自身の将来像をみつけることができるようになる 来店客層をもリサーチしブランドのユーザー特徴を知る。(外出予定)				⑫ (8/25)	【到達目標】 他チームのコスメを試す。使用感想を収集し発表に活用することができるようになる			
⑤ (5/26)	【到達目標】 買い物体験で得た情報をまとめる。 コスメを試しているいろいろな角度から研究することができるようになる				⑬ (9/1)	【到達目標】 チームの担当ブランドについてまとめる。ブランドBAメイクを作ることができるようになる			
⑥ (6/2)	【到達目標】 リサーチコスメの発表。 話題のコスメから私たちのベストオブコスメを選ぶことができるようになる				⑭ (9/8)	【到達目標】 役割分担を決めて発表準備をすることができるようになる			
⑦ (6/9)	【到達目標】 チーム(定期試験チーム)を決定し、ブランド・リサーチコスメを見つけることができるようになる (話題の理由も見つける)②				⑮ (9/15)	【定期試験】60 テーマのブランドコスメをブランドを象徴するBAになり、ブランドコンセプト・商品特徴・効果・使い方などを魅力的に紹介することができるようになる			
⑧ (6/23)	【到達目標】 店頭でリサーチコスメを試し選択する。(外出予定)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業中も常に姿勢・所作・言葉遣いを意識する。コロナ感染防止対策において衛生管理の徹底をする。忘れ物の管理不十分者は小テストから減点する。									

講義シラバス

科目名	ビューティカウンセリングⅢ	必修選択の別	必修	開講区分	3S	授業形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師プロフィール	短大卒業後、国産化粧品メーカーに入社。ビューティコンサルタントとして市内百貨店にて勤務。退職後はスキンケア講師として市内専門学校にて勤務。現在は国産スキンケアブランドコールセンターにてトレーナーとして勤務。オペレーターへの研修、指導を行っている						
【授業を通じての到達目標】									
BAの現場で求められるスキンケアカウンセリングスキルを習得する。お肌悩みに対して的確なアドバイスが行えるようになる。ヒアリング力、応対力、立ち振舞い、タッチアップスキルのレベルアップを目標とする。									
【学習内容】									
お肌悩みに対して的確なアドバイス、商品提案が行える様、お肌のメカニズムを学びながらお肌悩み別カウンセリング法を学ぶ。現場でのお客様対応に役立てられる様、各ブランドのスキンケアアイテムのリサーチも行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ノート、スマホもしくはタブレット、コットン、ティッシュ、実習用スキンケア一式、ビューティープラン									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/19	【到達目標】 スキンケアカウンセリングの基本と一連の流れを理解し現場のイメージができるようになる				⑨ 6/28	【到達目標】 お肌悩み<ベタつき・脂っぽさ> お肌の油分について理解し、ベタつき・脂っぽさでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる			
② 4/26	【到達目標】 お肌悩み<乾燥> 乾燥のメカニズムを理解し、乾燥でお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑩ 7/5	【到達目標】 校外実習準備。次週の校外実習(百貨店にてスキンケアカウンセリングを受ける)のための準備、リサーチを行うことができるようになる			
③ 5/10	【到達目標】 お肌悩み<乾燥> 乾燥のメカニズムを理解し、乾燥でお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑪ 7/12	【到達目標】 校外実習。スキンケアカウンセリングを体験し自身の成長に役立てることができるようになる			
④ 5/17	【到達目標】 お肌悩み<シミ> シミのメカニズムを理解し、シミでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑫ 8/23	【到達目標】 実習感想ディスカッション。カウンセリング実習を通して自身で感じたことを共有してこれからのカウンセリングに役立てることができるようになる			
⑤ 5/24	【到達目標】 お肌悩み<シミ> シミのメカニズムを理解し、シミでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑬ 8/30	【到達目標】 定期試験準備。定期試験に向けて各自準備をすることができるようになる			
⑥ 5/31	【到達目標】 お肌悩み<たるみ><しわ> たるみ、しわのメカニズムを理解し、たるみやしわでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑭ 9/6	【到達目標】 定期試験準備。定期試験を想定しペアで準備を行うことができるようになる			
⑦ 6/7	【到達目標】 お肌悩み<たるみ><しわ> たるみ、しわのメカニズムを理解し、たるみやしわでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				⑮ 9/13	【定期試験】60 お肌悩みに合わせて的確なヒアリング、アドバイス、商品提案、タッチアップ、ホームケアアドバイスを行うことができる			
⑧ 6/21	【到達目標】 お肌悩み<くすみ> くすみのメカニズムを理解し、くすみでお悩みのお客様へのカウンセリング、アドバイス、商品提案が行うことができるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に授業に参加する									

講義シラバス

科目名	エステエチュード	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	石野 紀子	講師 プロフィール	中学校の教員(美術科、社会科、国語科)として市内の中学校で勤務の後、本校で美容師科国家試験筆記授業(関係法規、文化論、運営管理)と筆記対策授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】

AEA上級認定エステティシャン筆記試験の合格を目標とした学習内容を学び、理解を深める。実技授業と絡めて授業計画を立て、身につける事が出来る

【学習内容】

AEA上級認定エステティシャン筆記試験の問題集の演習、解説を行う。

【使用教科書・教材・参考図書】

AEA認定エステティシャンテキスト/新エステティック学 理論編 I II III

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

試験例題集の予習・復習を宿題とする

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/21)	【到達目標】 全16回の授業を通じて、どのように目標をクリアするかを考え、計画を立てることができる。現時点での自分の理解度を把握し、今後どのように学習を進めていくかを具体的に把握する事が出来る。	⑨ (6/30)	【到達目標】 衛生管理(細菌、ウイルス、感染症)の知識を得て、その予防法や消毒方法について理解し、問題を解くことができる。 救急法(サロンで考えられるアクシデントについて知り、人工呼吸や胸骨圧迫などの救命の知識ややけどや鼻血などの傷病手当の方法についての知識を得て、正しい処置の方法が理解できる。)
② (4/28)	【到達目標】 解剖生理学(細胞、組織、器官、器管系)について、エステに必要な骨の知識を得ることができる。皮膚学(表皮、真皮、皮下組織のそれぞれの特徴について理解できるようになる。)	⑩ (7/7)	【到達目標】 化粧品学(化粧品の成分やその特徴、作用や注意点についての知識を得て、問題を解くことができる。)
③ (5/12)	【到達目標】 解剖生理学(体、顔の主な筋肉の位置と名称を理解できる。神経系の分枝や特徴を理解できる。) 皮膚学(皮膚の付属器について知識を得ることができる。皮膚の生理機能についての知識を得ることができる。)	⑪ (7/14)	【到達目標】 総復習(前期学習の範囲を復習し、自分の苦手分野を認識し、次週までに学習する内容を自分で決定することができる。) 模試(現時点での自分の力を知り、次週の目標点数を設定することができる。)
④ (5/19)	【到達目標】 解剖生理学(神経系の応用的な内容について理解できる。感覚器と神経系のつながりについて理解できる。) 皮膚学(美しい肌のために必要な条件が理解できる。肌タイプとそれぞれのタイプに応じたケアについて理解できる。)	⑫ (8/25)	【到達目標】 総復習(前期学習の範囲を復習し、自分の苦手分野を認識し、次週までに学習する内容を自分で決定することができる。) 模試(現時点での自分の力を知り、その結果をもとに夏休み中の学習計画の作成することができる。)
⑤ (5/28)	【到達目標】 解剖生理学(内分泌系に関わる器官とその機能について理解できる。) 皮膚学(光老化と紫外線、シワやシミができる原因とケアについて理解できる。)	⑬ (9/1)	【到達目標】 模試(夏休み中の成果を出しきり、自分の目標とする点数を目指す。5割以上正答できる。)
⑥ (6/2)	【到達目標】 解剖生理学(呼吸器系の外呼吸、内呼吸の違いを理解できる。循環器系の心臓の解剖やどのように血液循環しているかを理解できる。) 皮膚学(トラブル肌と皮膚疾患について、敏感肌、ニキビについての知識を得ることができる。また主な皮膚疾患について、正常な肌との違いについて理解することができる。)	⑭ (9/8)	【到達目標】 模試(前回よりも多くの得点を作ることができる。6割以上正答できる。)
⑦ (6/9)	【到達目標】 解剖生理学(消化器系の解剖と働きについて知識を得ることができる。泌尿器系はどのようにして尿が生成されて排泄されるか、生殖器系については月経の仕組みについて理解できる。) 栄養学(栄養学の基礎知識を得ることができる。栄養素の種類と働きについて理解できる。)	⑮ (9/15)	【定期試験】50 これまでに学んだすべての内容を範囲とする。模試と同形式で出題する。半年間で学んだ成果を出し、自分の最高得点を出すことができる。
⑧ (6/23)	【到達目標】 運動生理学(栄養学(何をどう食べるか、をテーマに摂取エネルギー量や代謝について、食生活と健康の関係、食生活と体調についての知識を得ることができる。食品パワーの新しい可能性とその利用について、話題となっている機能性成分や健康食品について知識を得ることができる。)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
AEA問題集の予復習を毎週必ず実施すること。			

講義シラバス

科目名	カウンセリングメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	新井 梨沙	講師 プロフィール	自身のトータルビューティサロンを運営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・企業セミナー・職業訓練等、美容教育に携わる。資格と経験を生かし技術・接客・経営・ライフワークに至るまで全てに特化したトータルビューティの授業を担当しています。						

【授業を通じての到達目標】

お客様が求めていることを適切なカウンセリングで引き出しそれをメイクで施すことができるようになる。

【学習内容】

お客様のお顔の印象、骨格などの外見的要素からとカウンセリングにより要望を聞き出し求められているメイクを施すことができるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・化粧品検定教科書参考

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

メイクシート作成

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/21)	【到達目標】カウンセリングを理論から理解することができる オリエンテーション カウンセリング・コミュニケーション理論	⑨ (6/30)	【到達目標】実際にコスメカウンターでのカウンセリングを体験する コスメショッピング 教材購入
② (4/28)	【到達目標】お客様の印象・骨格分析ができるようになる 印象分析	⑩ (7/7)	【到達目標】メイクの基本テクニックの理解 ソフトメイク・シャープメイク実演・理論 メイクシート作成 (配信授業)
③ (5/12)	【到達目標】お客様の肌触りができるようになる ベースメイク 肌質別特徴とメイク方法・クイッククレンジング・簡単マッサージ	⑪ (7/14)	【到達目標】接客に必要なパーソナルカラー診断テクニックの理解 教材購入レポート、パーソナルカラー カウンセリングに必要な色彩テクニック
④ (5/19)	【到達目標】アイメイクの接客に必要な用語を知り説明ができるようになる アイメイク1 アイメイクの接客に必要な名称、ツール選び、接客テクニック	⑫ (8/25)	【到達目標】カウンセリングからメイクアップを施すことができるようになる カウンセリングメイク1
⑤ (5/26)	【到達目標】様々なアイメイク商品をご提案できるようになる アイメイク2 アイライナー、まつ毛化粧品について使い方とテクニック リップメイクにつし	⑬ (9/1)	【到達目標】ご要望のメイクを施すことができるようになる カウンセリングメイク2 イメージメイク
⑥ (6/2)	【到達目標】お客様に似合う眉のご提案と商品を選び施すことができるようになる アイブロウ 眉の形、描き方のご提案 商品提案	⑭ (9/8)	【到達目標】ご要望のメイクを施すことができるようになる カウンセリングメイク3 イメージメイク 定期テスト対策
⑦ (6/9)	【到達目標】骨格を学び修正提案ができるようになる チーク 骨格修正、ゴールドンプロポーションの理解	⑮ (8/15)	【定期試験】60 定期テスト 相モデル イメージメイク
⑧ (6/23)	【到達目標】実際にコスメカウンターでのカウンセリングを体験する コスメショッピング 教材購入準備	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
忘れ物がないように・授業への取り組み態度も評価対象			